

履修要綱（修士）

1 修了の要件

本研究科博士前期課程を修了するためには、同課程に4セメスター以上在学し、30単位以上を修得して、学位論文を在学期間中に提出し、その審査および最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関して、在学期間中、特に優れた研究業績をあげた者は、大学院設置基準等に定める教育方法の特例（以下、特例と呼ぶ）によって、2セメスターをもって課程を修了することもできる。この場合、当該学生は、強い研究意思と特に優れた能力を持ち、かつ、その修了に必要なすべての要件を満たす者でなければならない。

【国際開発専攻、国際医療協力専攻、グローバル・コミュニケーション専攻】

授 業 科 目		必要単位数	修了必要単位数
1	主科目（自専攻の授業科目）	14単位以上	30単位 以 上
2	論文指導 I （第1セメスターから履修する） （修士論文を提出し、審査に合格した場合のみ単位付与） ※ 論文指導 I は、修士論文指導科目である。	8 単位	
3	副科目（専攻を異にする授業科目） 指導教授に相談の上、履修可能	特に定めなし	
4	基礎科目 （第1セメスター・第2セメスターのみ履修可） ①アカデミック・ライティング ②アカデミック・ジャパニーズ ③統計学 ※ ①②…履修は日本語を母国語としない学生に限る。 ③……出身大学にて履修をしていない学生は履修することが望ましい。	特に定めなし	

2 授業科目及び担当教員

博士前期課程 国際開発専攻

専門分野に関する科目

専門分野	2023年度の授業担当者			
	新科目名／旧科目名（読み替え科目）	開講	単位数	教員名
国際公共政策研究	国際政治論／国際政治特論A	春	2	渡辺 剛
	国際政治経済論／国際政治経済特論A	春	2	三浦 秀之
	比較政治学／比較政治学特論A	秋	2	木暮健太郎
	比較行政学／比較行政学特論A	春	2	進邦 徹夫
	現代アジア政治外交論／現代アジア特論A	春	2	劉 迪
	国際関係論／現代アメリカ特論A	春	2	島村 直幸
	近代比較政治史／日本政治特論A	秋	2	半田 英俊
	国際法／国際法特論A	春	2	川村 真理
	国際金融論／国際金融特論A	秋	2	西 孝
	国際協力論／国際協力特論A	春	2	川村 真理
	国際開発論／国際開発特論A	秋	2	川村 真理 知原 信良 劉 迪 北島 勉 坂本ロビン
	環境経済学／環境経済学特論A	春	2	斉藤 崇
	比較民法Ⅰ／財産法特論A	春	2	藤原 究
	比較民法Ⅱ／家族法特論A	秋	2	北田 真理
	比較憲法論／憲法特論A	秋	2	大西 健司
国際ビジネス研究	ビジネス・スタディーズ／経営特論A	春	2	糟谷 崇
	グローバル・イノベーション論／国際経営特論A	秋	2	糟谷 崇
	産業労働社会論／産業システム特論A	春	2	長谷部弘道
	マーケティング論／マーケティング特論A	秋	2	加藤 拓
	国際会計論／国際会計特論A	春	2	内藤 高雄
	企業法／企業法特論A	秋	2	伊藤 敦司
グローバル・スタディーズ	International Relations in the Asia-Pacific Region	秋	2	三浦 秀之
	Cross-cultural Leadership	春	2	坂本ロビン
	Politics & Social Policy	春	2	松井 孝太
	Global Citizenship	秋	2	坂本ロビン
	Learning and Pedagogy in International Education	春	2	マルコム・フィールド
	Technology & Education Development	秋	2	マルコム・フィールド

	2023年度の授業担当者			
	授 業 科 目	開講	単位数	教員名
専攻共通	アカデミック・ジャパニーズ	春	2	河路 由佳
	アカデミック・ライティング	秋	2	河路 由佳
	統計学	秋	2	小田 信之

- 上記3科目の履修は1年次のみ履修可能。
- アカデミック・ライティング、アカデミック・ジャパニーズの履修は日本語を母語としない学生に限る。